

[成果情報名]ビワ「麗月」の収穫適期判別のためのカラーチャート開発

[要約]ビワ「麗月」の収穫適期判別のために作成したカラーチャートは、「麗月」の果実品質と高い相関が認められる。「麗月」の果実赤道部表面色のカラーチャート指数が5未満になると食味が劣り、6より大きいと過熟気味となるため、出荷用果実の収穫適期はカラーチャート指数が概ね5～6である。

[キーワード]ビワ、麗月、カラーチャート

[担当]農林技術開発センター・果樹研究部門・ビワ落葉果樹研究室

[連絡先]（代表）0957-55-8740

[区分]果樹

[分類]指導

[背景・ねらい]

施設栽培ビワ「麗月」は果肉が緻密で軟らかく、食味が非常に良い品種であり、市場でも高単価で取引されている。しかし、既存の品種と比較し、果皮色が淡いために、早採りによる商品性の低下が懸念される。そこで、「麗月」の果実表面色と果実品質の関係を、作成したカラーチャート（図1）を用いて調査し、「麗月」の適期収穫技術を確立する。

[成果の内容・特徴]

1. 「麗月」の果実赤道部表面色のカラーチャート指数と糖度および酸含量は高い相関が認められるため、カラーチャートによる比色は「麗月」の収穫適期を判断する技術となる（図2、3）。
2. 果実赤道部表面色のカラーチャート指数が5未満だと、食味が劣る果実が多くなり、6より大きいと食味は良いが、過熟気味となる（図4、5）。そのため、日持ち性を考慮すると、出荷用果実はカラーチャート指数が6を超える前に収穫するのが良い。
3. 以上の結果より、「麗月」の収穫適期はカラーチャート指数5～6である。

[成果の活用面・留意点]

1. 本試験は、内黒の果袋をかけた果実を供試し、カラーチャートによる比色部位は果実赤道部である。

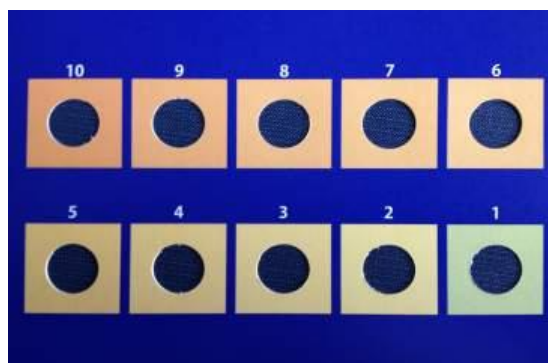


図1 初版カラーチャート

注) 数字はカラーチャート指数。

[具体的データ]

※ 耕種概要

・2011年4月4日、4月8日、4月13日、4月19日にランダムに収穫した果実を供試した。カラーチャート指数、食味および熟度の評価は延べ6名で実施した。

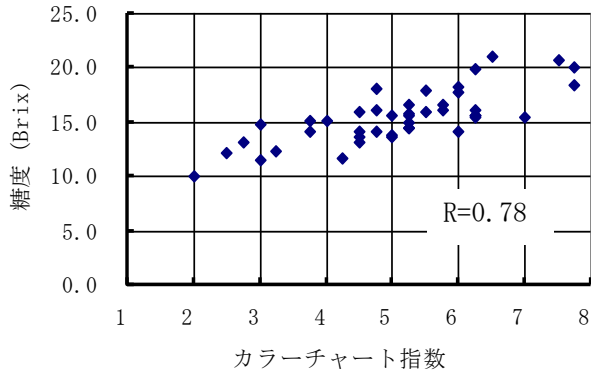


図2 カラーチャートと糖度の関係

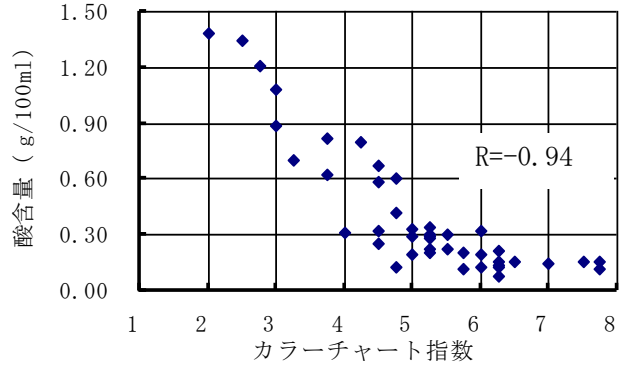


図3 カラーチャートと酸含量の関係

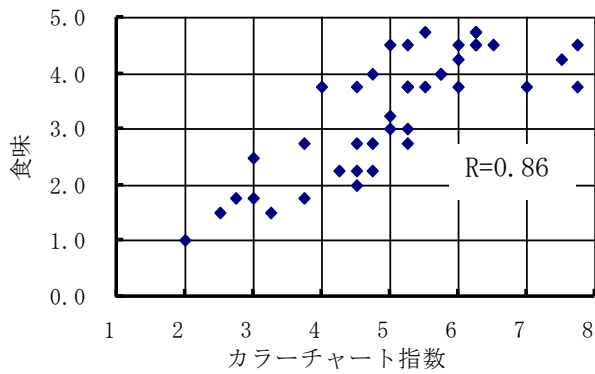


図4 カラーチャートと食味の関係

注) 食味: 1 (大変不良) ~ 2 (不良) ~ 3 (中程度) ~ 4 (美味しい) ~ 5 (大変美味しい)

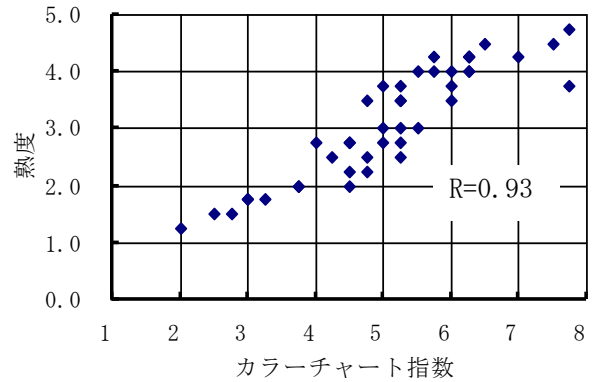


図5 カラーチャートと熟度の関係

注) 熟度: 1 (未熟) ~ 2 (やや未熟) ~ 3 (適熟) ~ 4 (完熟) ~ 5 (過熟)

[その他]

研究課題名 : ビワ新品種による超多収・良食味果実生産技術の確立
 予算区分 : 県単
 研究期間 : 2006~2010年度
 研究担当者 : 中山久之、徳嶋知則、中里一郎、松浦正